

平成30年度当初予算案

平成29年度2月補正予算案

概 要

教育委員会所管分

○重点施策

1. 学力向上対策
2. 貧困・いじめ・不登校対策
3. 教職員の働き方改革
4. 府立学校施設整備
5. 文化財の保護・継承

○その他課題への対応

予算案の規模(14か月予算)

<教育委員会所管分>

平成29年度2月補正予算案

(国補正予算に呼応・前倒し) 272百万円

平成30年度当初予算案

126,095百万円

対前年度比 $\Delta 1,723$ 百万円 (98.7%)

合計(14か月予算)

126,367百万円

対前年度比 $\Delta 1,451$ 百万円
(98.9%)

(単位:百万円)

	③①	②⑨	増減	前年比	主な増減要因
予算総額 (2月補正除き)	126,367 (126,095)	127,818 (127,818)	$\Delta 1,451$ ($\Delta 1,723$)	98.9% (98.7%)	
人件費	109,684	110,244	$\Delta 560$	99.5%	退職手当の減
事業費 (2月補正除き)	16,683 (16,411)	17,574 (17,574)	$\Delta 891$ ($\Delta 1,163$)	94.9% (93.4%)	
学校建設費 (2月補正除き)	2,606 (2,344)	3,441 (3,441)	$\Delta 835$ ($\Delta 1,097$)	75.7% (68.1%)	鴨沂高校校舎改築事業の進捗による減
重点・政策的経費 (2月補正除き)	3,344 (3,334)	3,367 (3,367)	$\Delta 23$ ($\Delta 33$)	99.3% (99.0%)	
義務・経常的経費 (高校生修学支援含む)	10,733	10,766	$\Delta 33$	99.7%	

重点1. 学力向上対策

○これまでから実施している学力アップ対策に加え、新しい学習指導要領の実施と大学入試改革を見据え、外国語4技能(読む・聞く・話す・書く)教育を充実

外国語4技能向上対策

京都グローバル人づくり事業費(一部) 321百万円

小学生

新 英語教育推進教員の配置

新 スクール・サポート・スタッフの配置

中学生

新 中学校2年生を対象に外国語4技能テストを実施し、英語指導に活用

新

研修会や集中セミナーを実施し、教員の資質を向上

高校生

新 外国語4技能テストを受験する高校1年生への支援(受験料の1/2)

拡 AET(Assistant English Teacher)を増員(南陽高校附属中学校に配置)

※これまでから実施している学力アップ対策も引き続き実施

小学生

小4府学力診断テスト

・府独自テストによる学習内容・生活状況の把握、課題分析

小4・5個別補充学習

・学習内容の高度化に対応するための個別補習

中学生

中1・2府学力診断テスト

・府独自テストによる学習内容・生活状況の把握、課題分析

中1振り返り集中学習

・基礎基本の徹底を図るための個別補習

中2学力アップ集中講座

・発展・応用学習に対応するための個別補習

高校生

府立高校実力テスト

・府独自テストによる学力状況の把握、希望進路実現

セカンドラーニング教室
進路補習、学習合宿 等

・学び直し学習、希望進路実現のためのコース別補習・学習合宿等

児童生徒のつまずきを分析する
学力向上システム
の構築

重点2. 貧困・いじめ・不登校対策

○まなび・生活アドバイザー、スクールカウンセラーによる相談・支援体制を拡充することで、問題の早期発見や児童生徒、保護者の相談に対応する総合的なサポート体制を充実

子どもの未来を守る事業

子どもの未来を守る事業費 187百万円

京都式「学力向上教育サポーター」事業

・貧困等の困難な家庭環境にある児童生徒を支援するため、教育と福祉の連携体制を整備

拡 まなび・生活アドバイザー配置・派遣事業

・子どもに寄り添った学習・生活支援や家庭支援、福祉機関との調整役として配置・派遣している、まなび・生活アドバイザーの体制を拡充 派遣回数 ⑳各校3回→㉑4回

拡 地域未来塾開設支援事業

・教員OBや大学生など地域住民の協力による学習支援 実施箇所：㉑34箇所→㉒48箇所

訪問型家庭教育支援事業

・様々な課題を抱える家庭に対する訪問型の家庭教育支援体制を構築し、家庭や子どもを地域で支える取組を推進

○ 小学生個別補習学習、府立高校「セカンドラーニング教室」など

いじめ防止・不登校支援等総合推進事業

いじめ防止・不登校支援等総合推進事業費 345百万円

いじめ防止・不登校支援等総合推進事業

・いじめや不登校など学校における問題や児童生徒・保護者の相談等に対応する総合的な取組を実施

拡 スクールカウンセラー配置・派遣事業

・児童生徒・保護者等の心のケアのためのカウンセリングを実施している、スクールカウンセラーの体制を拡充 派遣回数 ㉑各校3回→㉒4回

新 SNSを活用した相談体制構築事業

・民間業者を活用し、SNSによる相談事業を実施

フリースクール連携推進事業

・府認定フリースクールの教育活動等に助成(6箇所)

○ 24時間電話相談、ネットいじめ対策など

重点3. 教職員の働き方改革

○29年4月に「教職員働き方改革推進本部」を設置し、学校現場での業務改善や教員の負担軽減などの対策を推進中

○教育の質を高めるため、教職員の意識改革を行うとともに、外部人材の活用などにより、教員が授業や授業準備等に集中できる環境を構築

教職員の働き方改革推進費

京都グローバル人づくり事業費(一部)	72百万円
子どもの未来を守る事業費(一部)	132百万円
いじめ防止・不登校支援等総合推進事業費(一部)	244百万円
京都式「部活動サポート」事業費	28百万円

新 小学校英語教育推進教員の配置
【再掲】

・小学校に英語教育推進教員を新たに配置(10名程度)

新 スクール・サポート・スタッフの配置
【再掲】

・英語の導入に伴う授業時間増などに対応するため、教員が抱える事務作業を補助するスタッフを小学校に配置(10名程度)

拡 スクールカウンセラー、まなび・生活アドバイザーの拡充【再掲】

・スクールカウンセラー及びまなび・生活アドバイザーによる相談・支援体制を拡充 派遣回数: ㉑各校3回→㉓4回

新 京都式「部活動サポート」事業

・学校部活動支援のため、技術指導等を行う「スキルアップコーチ」や技術指導の補助を行う「地域サポーター」を学校の実態に応じて配置

業務改善

・出退勤時刻管理 ・部活動ガイドラインの周知 ・部活動休養日の徹底 など

重点4. 府立学校施設整備

○安心・安全で良好な教育環境を確保するとともに、時代の教育ニーズに対応する施設整備を実施

校舎の新設・改築

府立学校施設整備費 2,606百万円

新 チャレンジサポート校整備事業	・峰山高校弥栄分校校地に、自分のペースで「自立性・主体性」を身につけることができるよう、生徒一人一人のチャレンジをサポートする新しい高校を新設【整備スケジュール(予定)】 ・30年度:設計 31年度:建設工事 32年度:開校	29百万円 (新規)
井手地区新設特別支援学校整備事業	・山城地域の生徒数増に対して抜本的に対応する特別支援学校を新設【整備スケジュール(予定)】 ・30年度:造成工事 31~32年度:建設工事 33年度:開校	301百万円 (△146百万円)
鴨沂高校校舎改築	・昭和8年建築で老朽化が著しく、耐震指標も低い鴨沂高校の校舎改築等を実施 【30年夏頃完成予定】	1,242百万円 (△1,095百万円)

長寿命化対策・老朽校舎等改修

新 学校施設長寿命化対策	・施設をより長く安全に利用し、トータルコストの縮減等を実現するための予防保全型改修の実施	270百万円 (新規)
拡 老朽校舎等改修等	・老朽化の著しい施設・設備について、安心・安全対策を最優先とした改修を実施	764百万円 (+315百万円)

重点5. 文化財の保護・継承

○今年度創設した「暫定登録文化財」制度も踏まえ、文化財を次世代へ適切に継承

歴史的建造物等保存伝承事業費 1,642百万円
 暫定登録文化財等緊急修理保護事業費 70百万円
 府指定・登録文化財保存修理事業費 94百万円

<p>歴史的建造物等保存伝承事業費</p>	<p>・社寺等所有者の委託により、府教育委員会が国宝・重文建造物の保存修理工事等を実施 【30年度実施】 知恩院、清水寺、本願寺、平等院、教王護国寺、光明寺、仁和寺、今日庵、賀茂別雷神社、本隆寺、 萬福寺 <11箇所></p>	
<p>暫定登録文化財等緊急修理保護事業費</p>	<p>暫定登録文化財緊急修理事業</p>	<p>・今年度創設した府暫定登録文化財に対して、所有者が実施する修理や維持管理の経費に対して助成</p>
	<p>防災資機材整備費補助金</p>	<p>・府指定・登録・暫定登録文化財に対して、所有者が実施する防災資機材整備の経費に対して助成</p>
<p>府指定・登録文化財保存修理事業費</p>	<p>・府指定・登録等文化財を適切な状態にするため、所有者が実施する修理や維持管理の経費に対して助成</p>	

○ その他の主要事業

① 高校生等修学支援事業

6,009百万円

- 公立学校「授業料無償化」就学支援金
- 高等学校等修学資金貸付事業
- 奨学のための給付金（低額所得世帯の授業料以外の教育費負担軽減）
- 高等学校生徒通学費補助など

② 府立高校特色化事業

67百万円

- 生徒の個性・能力を伸長させる府立高校の特色化事業

新③ 京都グローバル人づくり事業【再掲】

368百万円

- 英語コミュニケーション能力の育成、国際社会で活躍できるグローバル人材の育成

④ 共生社会の実現対策

44百万円

- 羽ばたけ就労支援事業（京のしごと検定）
- 新設特別支援学校関連事業 新設校開校に備え、インクルーシブ教育ネットワークの構築
- 高校における特別支援教育の充実 聴覚障害のある生徒に対する学習補助システムの活用

⑤ 京のアスリート育成・強化総合推進事業

202百万円

- 世界クラス・全国クラス選手の養成・強化、競技団体の活性化を図る競技力向上対策

新⑥ 母校応援ふるさと事業

- ふるさと納税制度を活用して、府立学校の取組を応援